

敬愛 誠実 努力……都立大森高等学校 令和7年度校長通信

11月21日（金）＜校長から、生徒の皆さんや本校に関心のある方に、折々に伝えたいことを発信します＞

敬愛 誠実 努力 の校訓に立ち返って考える

＜学級閉鎖、という緊急対応を経て思うこと＞

今年はインフルエンザが猛威を振るっていて、特に大田区内の学校への影響が大きくなっている。本校でも1・2学年について、これ以上の感染拡大を防ぐために3日間の学級閉鎖とせざるをえなかったのだが、生徒諸君には、「自衛すること」について少し考えてほしいと思う。

感染防止の基本は、うがい・手洗い・換気・加湿、そして十分な栄養と睡眠を取ること、なのだが、衣服の調節によって適切な体温を保つことも、人間だからこそできる大切な行動の一つだ。今月は授業観察のため多くの教室で私も皆と一緒に授業を受けたが、時折、暖房の効いた室内でも制服の上に防寒着を着たままの生徒を見かけた。登下校の際の防寒着に制限をしていないのは、「自分で考えて対応する」ことだからであり、校内では、防寒着を着たままでいなければいけないほど寒い環境にはしていないはずだ。室内と屋外とで適切な衣服を身につけることや、清潔やTPOに配慮すること、それは校則にあるかないかということではなく、人間ができる感染を避ける自衛の手段だ。そして、**誠実**に自分の身を守ることは、周囲の生徒への**敬愛**の情につながる行動なのだ。

＜3年生の指定校推薦受験者の面接練習をして思うこと＞

ここ2週間ほどで、主に放課後、複数の3年生と面接練習をした。校長面接は最終仕上げの段階と言える。実は毎年この時期に、限られた生徒であっても直接話す機会があることを、私は楽しみにしている。それは、そこで語られる彼らの**努力**に、関心させられることが多いからでもある。以下に印象に残ったことをいくつか挙げてみたい。1, 2年生は参考にしてほしい。

- 大学進学後にやりたいことや将来就きたい職業について、自分なりの展望を語っていたこと
(実現するかどうかわからない夢であっても構わない。今の自分の考えを表現することが大事だ。)
- 高校入学後、何かしら努力を重ねていたこと 特に、中学校まで奮わなかった学業面で、苦手を克服する積み重ねをしていた人が多かったこと(学習時間を増やした、と話す生徒は複数いた。)
- 普段、コミュニケーションがあまり得意でない生徒であっても、緊張を克服して真剣に受け答えしていたこと(丸暗記の再現ではなく答えるのは、事前準備ができていたからこそできることだ。)

＜人生は有限だから 後回しは禁物＞

全国の定時制課程には50代以上の年齢になって、若い頃に様々な事情で学べなかった後悔を抱いて在籍している人もいる。先日会ったその方々は、半端ない覚悟と行動力と忍耐力のある人たちだった。人生は有限だからこそ、努力できる若さのある今、もりこう生でいる時間を大切にしてほしい。努力には、体力や我慢も大切。体力が落ちると我慢する力も落ちる。だから部活動や行事を頑張ってきた人ほど進路実現につながる例は多い。若さは強さなのだよ。

自分を変えられるのは、自分だよ

チャンスを逃すな！

